

人口減少・高齢社会のインフラ「住まい」づくり

空き家等の利活用と自治体住宅政策の再構築

住宅セーフティネット
構築のキーワード

空き家(実態・利活用)、空き家バンク、住宅市場再構築、シェアハウス(実態・条例制定)、居住支援(モデル事業・助成スキーム)、ライフコースの多様化

- 全国・地方の空き家の実態と対策、利活用の促進方策
- シェアハウスの実態と条例による基準づくり、庄内町(山形)におけるモデル事業の取組み
- (豊島区)協議会の設立、住宅ストックの利活用と居住支援施策モデル事業の取組み
- 若者、女性、高齢者：ライフコースの多様化と住まいの実態

2013年11月29日(金) 10:00~16:55 剛堂会館・会議室(東京・千代田区)

【講師陣】	米山 秀隆 氏 / 富士通総研経済研究所 上席主任研究員	露木 尚文 氏 / (株)住宅・都市問題研究所 代表取締役 豊島区居住支援協議会 事務局
	坂庭 国晴 氏 / NPO 住まいの改善センター 理事長 建設政策研究所 副理事長	平山 洋介 氏 / 神戸大学大学院 人間発達環境学 研究科 教授

10:00 〜 11:30	<p>増加する空き家の実態と利活用の方策 (株)富士通総研経済研究所 米山 秀隆 氏</p> <p>1. 空き家の実態(1): 全国 ①住宅・土地統計調査 ②空き家実態調査 ③空き家率の将来展望</p> <p>2. 空き家の実態(2): 地方 ①都市近郊 ②過疎地域</p> <p>3. 空き家発生に伴う問題 ①何が問題か ②外部不経済の試算</p> <p>4. 空き家対策(1): 撤去促進策 ①空き家管理条例 ②空き家対策法案 ③固定資産税の課題</p> <p>5. 空き家対策(2): 利活用促進策 ①空き家バンク ②定住支援策 ③公共的な活用 <質疑応答></p> <p>6. 中古市場の実態と空き家利活用の意義 ①中古市場 ②空き家を活用した住宅市場の再構築</p> <p><small>略歴: 1986年筑波大学第三学群社会学類卒業、1989年筑波大学大学院修士課程経営・政策科学研究科修了。野村総合研究所、富士総合研究所を経て、富士通総研経済研究所 上席主任研究員。2007~10年慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 客員研究員。著書に『空き家急増の真実』、『少子高齢化時代の住宅市場』(以上、日本経済新聞出版社)、『図解よくわかる住宅市場』(日刊工業新聞社) ほか多数。</small></p>
12:20 〜 13:50	<p>多様な居住とシェアハウス住居の活用 — 求められる自治体施策 住まいの改善センター 坂庭 国晴 氏</p> <p>1. 今日の居住状況の特性 — 単身居住増大と住宅のあり方</p> <p>2. 脱法的シェアハウスの実態と背景 — 高齢者、介護、福祉の居住施設との関係</p> <p>3. シェア住居の意義と可能性 — 自治体条例による基準づくり</p> <p>4. 人口減少、高齢社会の自治体住宅政策 — 山形県庄内町の取組みの実例 <質疑応答></p> <p><small>略歴: 1944年東京生まれ、中央大学理工学部卒。日本住宅公団(現・独立行政法人都市再生機構)勤務。退職後NPO 住まいの改善センター設立。著書『若者たちに住まいを— 格差社会の住宅問題』岩波ブックレット・共著) など</small></p>
14:00 〜 15:15	<p>豊島区居住支援協議会の取り組み ～モデル事業の経過と展望～ (株)住宅・都市問題研究所 露木 尚文 氏</p> <p>1. 居住支援協議会設立の背景と概要 ①豊島区の地域特性 ②居住支援協議会の概要</p> <p>2. 居住支援モデル事業の展開 ①空き家実態調査の概要 ②モデル事業の実施と助成スキーム</p> <p>3. 居住支援事業の課題と展望 ①モデル事業の進捗状況 ②居住支援活動に向けた課題と展望 <質疑応答></p>
15:25 〜 16:55	<p>成熟社会の住宅政策 — ライフコースの多様化とセーフティネット 神戸大学 平山 洋介 氏</p> <p>1. 住宅政策の変遷と現在</p> <p>2. 住宅事情をどう読むか?</p> <p>3. 住まいとライフコース変化 ①若者 ②女性 ③高齢者</p> <p>4. 住宅セーフティネットの実態と論点</p> <p>5. 住宅政策の再構築に向けて <質疑応答></p> <p><small>略歴: 1988年神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了、2003年より現職。専門は住宅問題、都市計画。著書に『住まいを再生する— 一東北復興の政策・制度論』(編著、岩波書店、2013年)、『都市の条件— 住まい、人生、社会持続』(NTT出版 2011年)、『住宅政策のどこが問題か — (持家社会)の次を展望する』(光文社、2009年)、『Housing and Social Transition in Japan』(編著、Routledge、2007)、『東京の果てに』(NTT出版、2006年)、『不完全都市— 神戸・ニューヨーク・ベルリン』(学芸出版社、2003年) ほか多数。</small></p>